



「JR福知山線脱線事故から19年。「安全とは」を考える。」



死者107名、負傷者562名を出したJR福知山線脱線事故から、今日で19年が経過します。交通事業者である私たちの記憶にも、この事故は強く記憶に刻まれています。

ジェイアールバス関東会社では、昨年度IT遠隔地点呼が全職場に波及し、点呼システムが刷新されました。また今年度からはバス運転者の改善基準告示の改正（2024問題）や中期安全計画も新たなものに刷新され、会社は勿論、私たち労働者を取り巻く環境は大きく変化しつつあります。私たち労働組合も「安全」を見つめ直す時がやってきました。

職場を見渡した時どうでしょう。今までのような厳正な対面点呼が無くなり、点呼業務の形骸化にはなっていませんか。遠隔地での管理者不在時の緊急時や異常時の対応は具体的に定まっていますか。改善基準告示改正に適用させたルールである、拘束時間や勤務間インターバルは守られていますか。

皆さんの些細な疑問や不安、不満が「安全」を見つめ直すきっかけにも繋がります。これからも「安全・安定輸送」を継続・実践していく為にも、職場の仲間と共に「安全問題」を議論して「安心・安全なジェイアールバス関東」を創っていきましょう！

職場の声から安全運動を前進させていこう！